

# 「大阪市生物多様性戦略」策定・推進の意義

## 1 国際的な動向

～深刻化する地球環境の悪化を背景としたパラダイムシフト～

**1972年6月 国連人間環境会議(UNCHE):ストックホルム (6/5～16開催)**  
 ・「かけがえのない地球(ONLY ONE EARTH)」というスローガン、国連として初めて環境問題を議論する国際会議  
 ・人間環境宣言(ストックホルム宣言)の採択

「人は環境の創造物であると同時に、環境の形成者」  
 「人間環境」の擁護・向上は、「平和」、「経済社会発展」と並ぶ「人類にとって至上の目標」

**1992年6月 国連環境開発会議(地球サミット):リオデジャネイロ**  
 ・気候変動に関する国際連合枠組条約(気候変動枠組条約)の採択

気候システムに危険な影響がもたらされない水準で、大気中の温室効果ガス濃度を安定化させるため、全ての締約国は、共通だが差異のある責任のもと、それぞれの約束(コミットメント)を実施  
 先進国は、温室効果ガスの排出量を2000年までに1990年の水準に戻すことを努力目標とする

・生物の多様性に関する条約(生物多様性条約)の採択

生物の生息環境の悪化及び生態系の破壊に対する懸念が深刻化し、野生生物種の絶滅が過去にない速度で進行  
 多様な生物を生息環境とともに保全し、生物資源を持続可能であるように利用して、遺伝資源の利用から生ずる利益を公正かつ衡平に配分していくことを目的とする

**2010年1月 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10):名古屋市**  
 ・自然と共生する世界の実現をめざし、生物多様性保全に関する世界目標「愛知目標」の採択

**2015年9月 国連持続可能な開発サミット:ニューヨーク**  
 ・持続可能な開発のための2030アジェンダの採択

「持続可能な開発目標(SDGs)」を中核とする国際社会共通の目標であり、「人間、地球及び繁栄のための行動計画」

**12月 気候変動枠組条約第21回締約国会議:パリ**  
 ・パリ協定の採択

21世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロとすることを目標とする  
 生物多様性保全を含む「適応策」を地球温暖化対策の重要な柱と位置付け

## 2 生物多様性の意義

～生物多様性は人類の生存基盤～

- ◆ 地球上の生物は約3000万種  
 それぞれの生物種は、40億年の進化の歴史の中で生まれてきた「奇跡の傑作」
- ◆ 多様な生物と大気・水・土壌等が相互に関わりあって生態系を形成。人類もそのバランスの中で生存  
 生物種が失われると、生態系を介して影響が連鎖していくため影響は計り知れず、かつ元通りにできない
- ◆ 自然や生き物の減少は人類の生存基盤を脅かす危機であり、国際条約や国家戦略の下、大阪市も  
 生物多様性の保全に取り組んでいくことが必要

## 3 SDGsの意義・ポイント

～2030年に向けて世界が合意した目標～

- ◆ 人間の活動による影響が地球の限界を超えるリスクが顕在化する中で、経済・社会・環境の三側面の統合的取組を通じた持続可能な開発(課題解決)をめざすもの

- ◆ 「誰一人取り残さない」という考え方に基づいて17のゴール(目標)を設定

- ◆ 国は2016年5月に、首相をトップとする「持続可能な開発目標(SDGs)推進本部」を設置し、SDGsの取組を積極的に推進



## 4 国内の動向

～国際条約・国家戦略を踏まえた生物多様性地域戦略の策定の動き～

**1995年10月 生物多様性国家戦略の策定**  
**2008年 5月 生物多様性基本法の制定**  
 ・生物多様性地域戦略の策定を地方公共団体の努力義務として規定  
 ・20政令指定都市のうち、大阪市、千葉市、広島市を除く17市が地域戦略を策定済

## 5 戦略の推進により大阪市がめざすもの

～持続可能な社会・経済システムの構築～

- ◆ 生物多様性の保全は、持続可能な社会・経済システムを構築するというSDGsを達成するための主要な取組みの一つ

【戦略の主な施策と関連するSDGsのゴール】

・緑化の推進



・環境教育、ボランティアの育成・連携



・水質・水辺環境の改善



・地球温暖化対策、ヒートアイランド対策



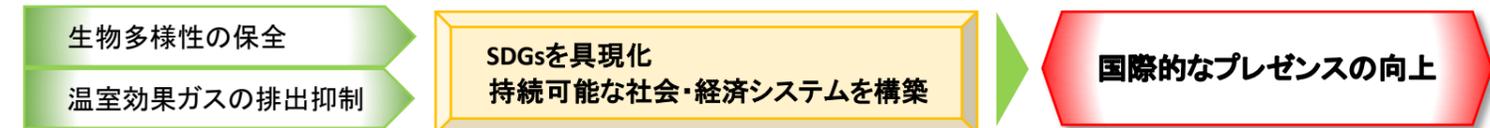
・生物多様性に配慮した調達、食品ロスの削減



・国際貢献

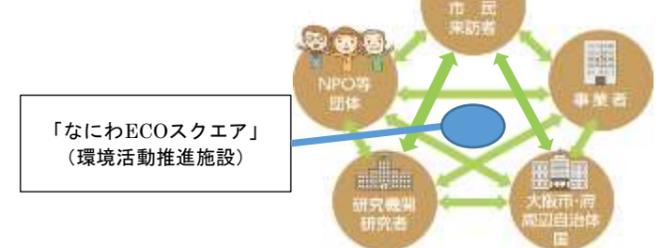


- ◆ 国際博覧会やオリンピックでは、生物多様性に配慮した調達や温室効果ガスの排出抑制など、持続可能な運営が責務  
 生物多様性保全等に取り組む、持続可能な社会・経済システムを構築していくことが、大阪市の国際的なプレゼンスの向上に不可欠



- ◆ 花博記念公園鶴見緑地内にあり、国際花と緑の博覧会の理念「自然と人間との共生」の継承・発展に取り組んでいる「なにわECOスクエア」を、生物多様性保全に向けた拠点と位置付け

《新たな連携・協働 概念図》



## 6 環境基本計画の改定

～SDGsの考え方を活用した環境政策の構築～

- ・国は、SDGsの考え方を受け、第5次環境基本計画を策定しているところ
- ・他都市では、横浜市や北九州市などがSDGsを踏まえ、環境基本計画の見直しを実施

SDGsを活用する  
 環境政策の構築が  
 時代の潮流

大阪市  
 SDGsを具現化する  
 環境基本計画への  
 改定に着手